

JALUX グッドタイムホーム・調布

体験入居  
受付中!

## 輝ける最良の人生の為に

人生最良の時を過ごす、介護付有料老人ホーム「JALUX グッドタイムホーム・調布」が2004年秋に誕生。全73室、シングルとツインのお部屋と安心のケアをご用意。快適な環境で充実した時間を過ごす、そんな生活が待っています。



●施設概要 ●所在地/東京都調布市小島町2丁目3-6(調布駅徒歩 約9分) ●総居室数/73室(シングル64室、ツイン9室) ●入居要件/65歳以上で入居時自立・要介護 ●権利形態/終身利用権方式(単年利用型もあり) ●介護保険/東京都指定介護保険特定施設(1374201331号) ●介護体制1.5:1以上

お問い合わせ先/(株)JALUX ライフデザイン

☎0120-32-9006

<http://www.jalux-goodtimehome.com>

中国大紀行  
THE GREAT CHINA

新発売!

## 中国映像の決定版 全編オリジナル企画、中国全土50箇所厳選収録

初めて本格的に撮影された秘境を含む、中国全土の歴史風景や遺跡などを、デジタルハイビジョンで記録。この壮大な紀行映像をDVD全10巻に収録した『中国大紀行』の販売を開始いたしました。



お問い合わせ先/JALUX 通信販売部

☎0120-25-3984

<http://chugokudaikiko.com>

JAL バケーション・オーナーシップ・システム

好評  
ご案内中

## 新たなリゾートライフがここから始まる

リゾート物件を購入する手法として注目を集めるバケーション・オーナーシップは、「タイムシェア」と呼ばれる欧米でポピュラーなリゾート共有システムです。JALUXでは、ヒルトンやマリオットなど世界に名だたるブランドがハワイ地区で運営する、日本人向けサービスが充実した物件をご案内しています。



タイムシェアの特長

1年に1週間利用できる所有権登記を行うタイムシェアは相続・贈与も可能です。交換利用制度も使って世界各地のリゾートへ!

お問い合わせ先/JALUX ライフデザイン事業部  
ニッコーオーナーシップ

☎0120-25-0740

<http://www.jalux.com/jvos>

株式会社 JALUX

(東証1部: 銘柄コード2729)

〒140-8638 東京都品川区東品川2-4-11 JALビルディング  
TEL03-5460-7109(株式チーム)03-5460-7233(IRチーム)

[www.jalux.com](http://www.jalux.com)



古紙配合率100%再生紙と、米国大豆協会認定の大豆インキを使用しています。

2005年6月発行

Jalux

## 第44期 事業報告書

2004年4月1日~2005年3月31日

株式会社 JALUX

Aviation-related



Lifestyle services



Customer services



# JALUX 空港店舗・サービスを拡充!

## JAL IC利用クーポンが、『BLUE SKY』と『JAL-DFS』でご利用可能に!

JALグループのフライトやショッピングでためたマイルが、全国の空港店舗『BLUE SKY(ブルースカイ)』と成田空港『JAL-DFS(ジャルディーエフエス)』でのお買い物にご利用いただけるようになりました。

このスピーディで便利なサービスを、JALUX(ジャルックス)の空港店舗でご活用ください。



ショッピング時に  
オサイフわりに  
ご利用いただけます



JALIC利用クーポンは国内のJALグループホテルなどでもご利用いただけます。詳しくは▶[http://www.jal.co.jp/ic\\_service/](http://www.jal.co.jp/ic_service/)  
従来のJAL利用クーポンはJALUX空港店舗ではご利用いただけませんでしたのでご了承ください。

## 新たな「空弁(そらべん)」を発売!

ヘルシー志向にこだわった『黒いなり』と『軍鶏(しゃも)』、そして『みち子がお届けする若狭の浜焼き鯖寿司』の新たなラインナップとして『浜焼き鯛寿司』『昆布メ鯖寿司』を羽田空港で新発売。空弁の品揃えがさらに多彩になりました。

詳しくは▶[www.jalux.com/c/bluesky](http://www.jalux.com/c/bluesky)(空弁カタログ)



## 羽田空港と中部国際空港に新店舗オープン!

羽田空港ターミナルリニューアル(2004年12月)と、中部国際空港「セントレア」開港(2005年2月)に伴い、新たに『BLUE SKY』6店舗をオープン。これからも旅客の皆様の利便性向上とサービスの充実に努めてまいります。



提供:中部国際空港(株)

## 成田国際空港に免税店『MONTBLANC(モンブラン)』をオープン!

2005年12月、『JAL-DFS』の新たなブランド店『MONTBLANC』をオープン。『BVLGARI(ブルガリ)』店などのリニューアルも行い、さらに充実したショッピングをお楽しみいただけます。



## 『上場3周年記念株主優待商品券』を発行

JALUX 上場3周年を記念し、2005年3月末の株主の皆様へ記念優待商品券(一律3,000円分)を発行させていただきました。

2005年9月末以降、毎年9月末・3月末の株主の皆様にはご覧のとおり優待商品券を進呈いたします。

● 100株以上 500株未満所有の株主	2枚(年間 4枚)
● 500株以上 2,000株未満所有の株主	4枚(年間 8枚)
● 2,000株以上 4,000株未満所有の株主	7枚(年間14枚)
● 4,000株以上 6,000株未満所有の株主	10枚(年間20枚)
● 6,000株以上10,000株未満所有の株主	12枚(年間24枚)
● 10,000株以上所有の株主	14枚(年間28枚)

### 適用対象

通信販売カタログ  
JAL World Shopping Club  
(JALワールド・ショッピングクラブ)

全国空港店舗

旭川 女満別 釧路 新千歳 函館 帯広 青森 秋田 北九州 出雲 福岡 大分 広島 大阪 関西 熊本 松山 徳島 中部 成田 那覇 電美

### 優待内容

優待商品券はJALUX 通販カタログ『JAL World Shopping Club』および空港店舗『BLUE SKY』で、1枚1,000円分の商品券としてご利用いただけます。(1年間有効)

※インターネット通販、JAL-DFS、JAL機内販売、JAL PLAZA等ではご利用できません。また、他の割引との併用はできませんのでご了承ください。

株主優待制度(店舗所在地等を含む)は、各種要因により変更となる場合もございますので、予めご留意くださいますようお願い申し上げます。

## 『IR(株主・投資家情報)ニュースメールサービス』を開始

ホームページでは、JALUXのニュースリリースやIRサイトの更新などを『JALUX IR NEWS』としてEメールでお知らせするサービスをご提供しています。ご登録は無料ですので、ぜひご活用ください。

[www.jalux.com](http://www.jalux.com)

『株主・投資家の皆様』



## CONTENTS

お知らせ	● 2
トップインタビュー	● 3
営業の概況	● 5
業績の推移および計画	
連結財務諸表(要旨)	● 7
株式情報/株主メモ	● 9
株価・出来高の推移	
会社概要/役員	● 10
JALUX グループの 社会貢献について	



代表取締役社長 岡崎 俊城

2005年6月22日開催の定時株主総会および取締役会において、岡崎俊城が代表取締役社長に就任いたしました。

Q:まず、就任に際してのお気持ちを聞かせください。

A:『幸せづくりのパートナー』の企業理念や、「事業品質」「CSR\*」を重視した経営方針などは、**JALUX**グループ(以下、**JALUX**)がこれまでに培ってきた風土であり文化であると思います。

これらの基本姿勢をあらためて認識するとともに、強い意志をもってその責任を遂行してまいりたいと思っています。

※ CSR=企業の社会的責任

Q:経営戦略について何か変わりはありますか？

A:基本は変わりませんが、2004年に掲げた、「20%成長\*」の目標を、より確実に達成し継続していくためには、中期経営計画における諸施策の実行へ向けてのスピードをさらに上げて、迅速かつダイナミックに推進していかなければならないと考えています。

財務基盤は健全な状態にあり、目標を達成するための体力は十分に蓄えられていると言えるでしょう。

※ 2004年3月期の経常利益19億円を起点とした中期平均成長率

Q:当面はどのようなことが考えられますか？

A:例えば、事業や組織の効率性の向上などがあげられると思います。各事業の収益性や今後の予測などを検証し、機を逃さずに新たな手を打っていくことが、成長角度の維持・向上のためには必要だと思います。

また、有効な投資を促進していくことも必要でしょう。

Q:投資についての方針は？

A:投資対象の競争力や成長性はもちろんのことですが、特に、当社の事業との相乗効果が高く見込めるか、また、いかに新たなノウハウを得られるか、などを基準に有効性を判断し、M&A\*も含めた積極的に取り組みにより、早期に成果につなげていきたいと思っています。

※ M&A=企業の合併・買収

Q:JALUXの強みはどのような点にあると捉えていますか？

A:航空分野などにおける専門ノウハウや安定的な顧客基盤、また、企業としてのブランド力などが、独自の強みではないでしょうか。

Q:専門ノウハウとは具体的にはどのようなものでしょうか？

A:当社は、航空分野を基盤に、1962年の創立以来、航空や空港にかかわる事業の拡充をはかってまいりました。例えば、



航空機のエンジン部品から機内の備品にいたるまで、これらの分野における知識や経験は、他には負けない**JALUX**特有の競争力だと思います。

Q:顧客基盤は具体的には？

A:顧客は、企業と一般消費者に分かれますが、一般消費者を対象とする事業では、例えば、約6,000万人\*の**JAL**グループのお客様は安定的顧客基盤のひとつです。

ご旅行をきっかけに、初めて当社の店舗や通販などをご利用された方も多いのではないでしょうか。

※ 年間延べ旅客数

Q:ブランド力についてはどのようにお考えですか？

A:「品質競争力」、すなわち、商品やサービスの品質のみならず、経営や社員の資質なども含む「事業品質」がその源だと思います。

**JAL**ブランドのみに依存することなく、**JALUX**としての「事業品質」や「顧客満足度」を維持・向上し、お客様、株主・投資家の皆様など、社会からの信頼を積み重ねていくことが、中長期的なブランド力につながっていくものと確信しています。

Q:JALグループにおけるJALUXの位置付けは？

A:JALグループは航空運送を中心に、旅行やホテルなどの関連事業を行っていますが、当社はその中において「お客様へ向けての生活提案」を行う、新しい形の商社と申し上げてよろしいかと思います。

このポジションにおいてグループの資源を有効に活用できることは、事業の成長のために有効にはたらいていると思います。

Q:利益還元についてはどのようにお考えですか？

A:企業価値の向上を目指し、株主の皆様への適切な還元をはかっていくことは、独立した上場企業としての重要な責務であると認識しています。

Q:具体的な方針は？

A:配当金につきましては、安定的かつ継続的であることを基本とし、中長期的には、配当性向\*を勘案しながら、利益水準の向上にともなう還元の実現を目指してまいります。

また、株主優待制度も、特に個人株主の皆様からご好評をいただいております。引き続き内容の充実を検討していきたいと思っています。

※ 配当性向=当期純利益に対する配当金の割合

Q:最後に、株主・投資家の皆様へメッセージをお願いします。

A:先般発表の中期経営計画において、2008年3月期の経常利益目標を40億円と決めました。

その目標の確実な実現へ向けて、全社一丸となって邁進してまいりますので、引き続き、皆様からのあたたかいご支援をいただければ幸いです。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

岡崎俊城  
(おかざき としき)

日本航空機\*常務取締役、日本アジア航空代表取締役社長、(株)ジャルセールス代表取締役社長等を経て、2005年4月に(株)JALUX顧問、同6月に代表取締役社長に就任。

※ 現 株式会社日本航空インターナショナル



## 当期の業績の概況 (2005年3月期)

## Outline of Consolidated Financial Results for the Year Ended March 2005

2005年3月期は、国際旅客などをはじめとする航空関連マーケットの回復や、2004年1月の(株)JAS(ジェイエイエス)トレーディングとの合併影響額の通期寄与などにより、各事業とも好調に推移いたしました。

特に、国際旅客を対象とする、成田空港免税店『JAL-DFS』や国際線機内販売用免税品、また、合併による店舗数の拡大や効率化を推進した国内空港店舗『BLUE SKY』などで、大幅な増収増益となりました。

さらに、航空機部品、食品、印刷メディア、ライフデザイン(保

険・不動産)事業などにおいても順調な業績をおさめ、売上高は986億円(前期比115%)、売上総利益は231億円(同114%、航空関連事業≒36億円、生活提案事業≒195億円)といずれも前期を上回りました。

また、合併に伴う販売費および一般管理費の増加抑制などに努め、営業利益は27億円(同132%)、経常利益は29億円(同150%)と前期を大幅に上回りました。

これらにより、当期純利益は14億円(同132%)となり、3期連続で最高益を更新することができました。

## 来期の業績の見通し (2006年3月期予想)

## Outlook for the Year Ending March 2006

2006年3月期においては、需要のゆるやかな拡大を見込み、航空関連事業では、航空機部品の保管・供給ビジネスの拡充や、海外の空港・インフラ関連事業への参画などにより、基盤のさらなる強化をはかってまいります。

一方、生活提案事業では、商品・サービス品質の向上を推進し、通信販売や空港店舗など、リテールビジネス(小売事業)の拡充をはかってまいります。

さらに、新規事業\*にも積極的に取り組み、文化分野における映像コンテンツ制作事業では、中国全土の名勝をデジタルハイビジョン映像に収録した『中国大紀行』DVDソフトの

販売を展開してまいります。

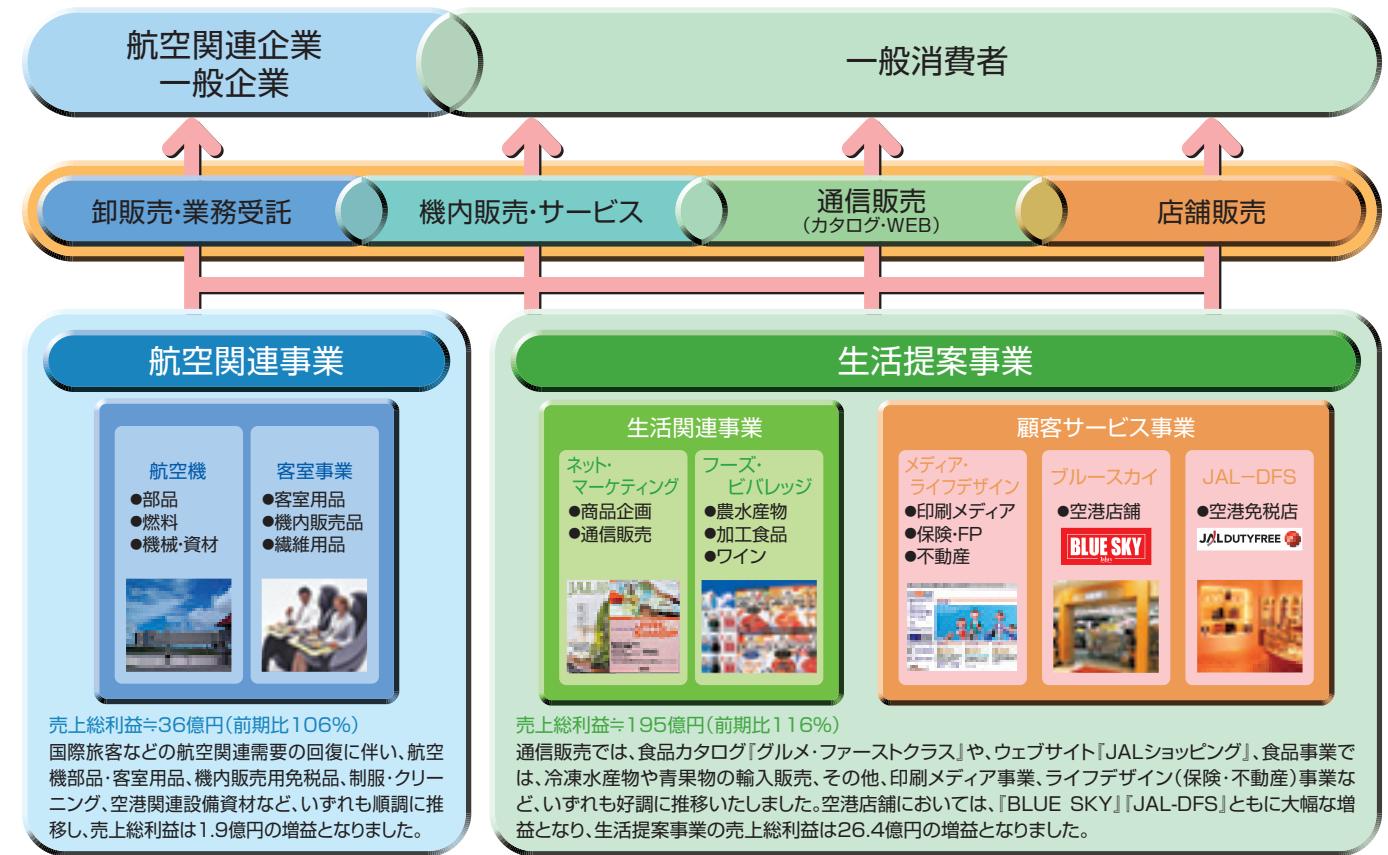
また、厚生分野では、2004年に開設した『JALUXグッドタイムホーム・調布』(介護付有料老人ホーム)の安定的な運営や、JALパッケージ・オーナーシップ・システムへの取り組みなど、お客様の心豊かな生活に寄与する、新たな価値をご提供してまいります。

これらにより、売上高1,030億円(前期比104%)、経常利益32億円(同111%)、当期純利益16億円(同111%)と、引き続き増収増益を見込み、継続的な成長を目指してまいります。

\* それぞれの商品・サービスの内容については、最終面をご参照ください。

## 当期のセグメント別概況

## Performance per Operating Segment



## Consolidated Financial Summary

## 業績の推移および計画(連結)

(単位:百万円)

●2006年3月期以降は予想または計画値です。

将来の計画に関する記載は、現在において入手可能な情報および仮定に基づき作成しており、実際の業績はさまざまな要因により計画と異なる場合があります。



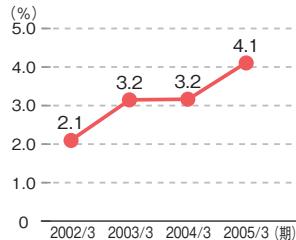
連結財務諸表(要旨) (単位:百万円、単位未満は切り捨て)

連結貸借対照表			Balance Sheet				
科目	期別	前期(第43期) 2004年3月31日現在	当期(第44期) 2005年3月31日現在	科目	期別	前期(第43期) 2004年3月31日現在	当期(第44期) 2005年3月31日現在
<b>資産の部</b>				<b>負債の部</b>			
流動資産		24,068	<b>24,795</b>	流動負債		20,343	<b>19,541</b>
現金及び預金		4,130	<b>5,218</b>	支払手形及び買掛金		12,312	<b>10,863</b>
受取手形及び売掛金		12,042	<b>11,013</b>	短期借入金		3,267	<b>3,357</b>
たな卸資産		5,115	<b>5,210</b>	未払法人税等		647	<b>805</b>
繰延税金資産		412	<b>424</b>	未払費用		2,407	<b>2,141</b>
その他		2,401	<b>2,961</b>	その他		1,708	<b>2,374</b>
貸倒引当金		▲34	<b>▲33</b>	固定負債		4,260	<b>3,272</b>
固定資産		11,638	<b>10,369</b>	長期借入金		3,618	<b>2,458</b>
有形固定資産		4,648	<b>4,672</b>	退職給付引当金		212	<b>329</b>
無形固定資産		540	<b>491</b>	役員退職慰労引当金		139	<b>174</b>
投資その他の資産		6,449	<b>5,205</b>	その他		289	<b>310</b>
投資有価証券		2,065	<b>2,181</b>	負債合計		24,603	<b>22,814</b>
長期貸付金		1,395	<b>499</b>	<b>少数株主持分</b>			
長期差入保証金		2,357	<b>1,793</b>	少数株主持分		626	<b>733</b>
繰延税金資産		317	<b>382</b>	<b>資本の部</b>			
その他		531	<b>503</b>	資本金		2,558	<b>2,558</b>
貸倒引当金		▲218	<b>▲155</b>	資本剰余金		711	<b>711</b>
資産合計		35,706	<b>35,164</b>	利益剰余金		7,448	<b>8,608</b>
				その他有価証券評価差額金		8	<b>10</b>
				為替換算調整勘定		▲242	<b>▲263</b>
				自己株式		▲6	<b>▲9</b>
				資本合計		10,477	<b>11,616</b>
				負債、少数株主持分及び資本合計		35,706	<b>35,164</b>

ROA

(当期純利益 ÷ 期中平均総資産)

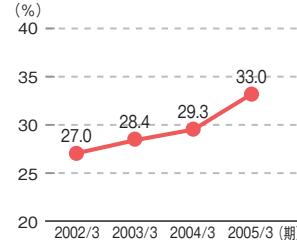
空港店舗事業における長期差入保証金の返還に伴う有利子負債減少および3.5億円の増益に伴い、総資産利益率は向上いたしました。



株主資本比率

(株主資本 ÷ 総資産)

10.7億円の有利子負債減少および11.6億円の利益剰余金増加等により、株主資本比率は向上し、財務基盤の健全性は継続的に向上しています。



連結損益計算書			Income Statements				
科目	期別	前期(第43期) 自2003年4月1日 至2004年3月31日	当期(第44期) 自2004年4月1日 至2005年3月31日	科目	期別	前期(第43期) 自2003年4月1日 至2004年3月31日	当期(第44期) 自2004年4月1日 至2005年3月31日
売上高		86,089	<b>98,622</b>	売上高		86,089	<b>98,622</b>
売上原価		65,845	<b>75,549</b>	売上原価		65,845	<b>75,549</b>
売上総利益		20,244	<b>23,073</b>	売上総利益		20,244	<b>23,073</b>
販売費及び一般管理費		18,163	<b>20,332</b>	販売費及び一般管理費		18,163	<b>20,332</b>
営業利益		2,081	<b>2,741</b>	営業利益		2,081	<b>2,741</b>
営業外収益		321	<b>349</b>	営業外収益		321	<b>349</b>
営業外費用		488	<b>213</b>	営業外費用		488	<b>213</b>
経常利益		1,914	<b>2,878</b>	経常利益		1,914	<b>2,878</b>
特別利益		429	<b>253</b>	特別利益		429	<b>253</b>
特別損失		110	<b>280</b>	特別損失		110	<b>280</b>
税金等調整前当期純利益		2,233	<b>2,851</b>	税金等調整前当期純利益		2,233	<b>2,851</b>
法人税、住民税及び事業税		1,207	<b>1,349</b>	法人税、住民税及び事業税		1,207	<b>1,349</b>
法人税等調整額		▲166	<b>▲78</b>	法人税等調整額		▲166	<b>▲78</b>
少数株主利益(控除)		106	<b>144</b>	少数株主利益(控除)		106	<b>144</b>
当期純利益		1,085	<b>1,435</b>	当期純利益		1,085	<b>1,435</b>

販売費及び一般管理費

合併に伴う8.1億円の人件費の増加や、店舗の増収に伴う7.8億円の賃借料(歩合家賃等)の増加などがありましたが、その他経費の節減により、売上総利益28.3億円の増加に対し、販売管理費2.7億円の増加に抑制いたしました。

営業外収支

持分法投資利益や受取配当金等により、営業外収支はプラス1.4億円となりました。

特別損益

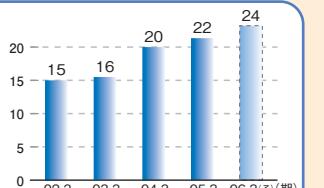
固定資産売却益・処分損および減損損失の計上などにより、特別損益はマイナス0.3億円となりました。

連結剰余金計算書			Shareholders' Equity				
科目	期別	前期(第43期) 自2003年4月1日 至2004年3月31日	当期(第44期) 自2004年4月1日 至2005年3月31日	科目	期別	前期(第43期) 自2003年4月1日 至2004年3月31日	当期(第44期) 自2004年4月1日 至2005年3月31日
<b>資本剰余金の部</b>				<b>資本剰余金の部</b>			
資本剰余金期首残高		661	<b>711</b>	資本剰余金期首残高		661	<b>711</b>
資本剰余金増加高		50	<b>0</b>	資本剰余金増加高		50	<b>0</b>
資本剰余金期末残高		711	<b>711</b>	資本剰余金期末残高		711	<b>711</b>
<b>利益剰余金の部</b>				<b>利益剰余金の部</b>			
利益剰余金期首残高		6,148	<b>7,448</b>	利益剰余金期首残高		6,148	<b>7,448</b>
利益剰余金増加高		1,507	<b>1,435</b>	利益剰余金増加高		1,507	<b>1,435</b>
利益剰余金減少高		207	<b>275</b>	利益剰余金減少高		207	<b>275</b>
利益剰余金期末残高		7,448	<b>8,608</b>	利益剰余金期末残高		7,448	<b>8,608</b>

連結キャッシュ・フロー計算書			Cash Flows				
科目	期別	前期(第43期) 自2003年4月1日 至2004年3月31日	当期(第44期) 自2004年4月1日 至2005年3月31日	科目	期別	前期(第43期) 自2003年4月1日 至2004年3月31日	当期(第44期) 自2004年4月1日 至2005年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,474	<b>2,001</b>	営業活動によるキャッシュ・フロー		1,474	<b>2,001</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー		▲211	<b>385</b>	投資活動によるキャッシュ・フロー		▲211	<b>385</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー		▲899	<b>▲1,371</b>	財務活動によるキャッシュ・フロー		▲899	<b>▲1,371</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額		5	<b>12</b>	現金及び現金同等物に係る換算差額		5	<b>12</b>
現金及び現金同等物の増加額		369	<b>1,028</b>	現金及び現金同等物の増加額		369	<b>1,028</b>
現金及び現金同等物の期首残高		3,523	<b>4,106</b>	現金及び現金同等物の期首残高		3,523	<b>4,106</b>
合併による現金及び現金同等物の増加額		212	<b>-</b>	合併による現金及び現金同等物の増加額		212	<b>-</b>
現金及び現金同等物の期末残高		4,106	<b>5,134</b>	現金及び現金同等物の期末残高		4,106	<b>5,134</b>

1株当たり配当金(単体)

前期20円(普通配当16円+記念配当4円)に対し、当期は1割の増配(普通配当22円)とさせていただきます。来期も増配を計画しています。



## ■ 株式情報 (2005年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	20,000,000株
発行済株式の総数(自己株式等控除後)	12,760,821株
株主数	9,205名

## ■ 大株主(上位10名)

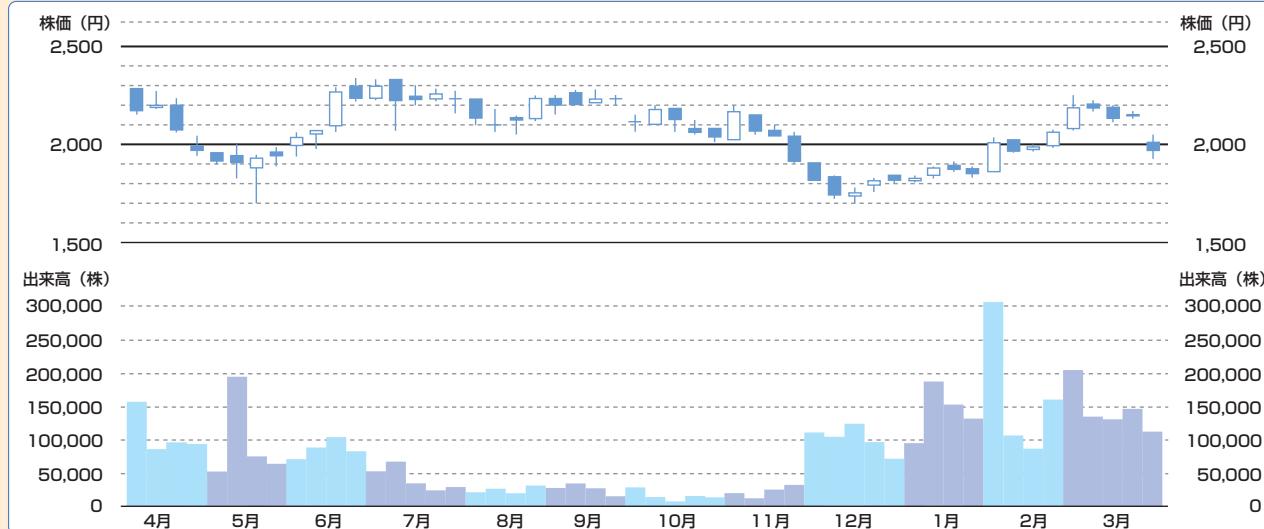
株主名	持株数	議決権比率
株式会社日本航空	6,560千株	51.5%
東京海上日動火災保険株式会社	455千株	3.6%
ニッセイ同和損害保険株式会社	392千株	3.1%
三井住友海上火災保険株式会社	252千株	2.0%
あいおい損害保険株式会社	189千株	1.5%
株式会社損害保険ジャパン	189千株	1.5%
JALUX 社員持株会	170千株	1.3%
空港施設株式会社	168千株	1.3%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	136千株	1.1%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	91千株	0.7%

## ■ 株主メモ (2005年6月22日現在)

決算期	3月31日
定時株主総会	6月中
株主確定基準日	3月31日(定時株主総会・利益配当金)
1単元の株式数	100株
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都江東区東砂7丁目10番11号 UFJ信託銀行株式会社 ☎0120-232-711
同取次所	UFJ信託銀行株式会社全国各支店 野村證券株式会社本店ならびに 全国各支店
公告掲載方法	当社ホームページにおける電子公告

( 貸借対照表および損益計算書に係る情報は、  
当社ホームページhttp://www.jalux.comにおいてご提供いたします。 )

## ■ 株価・出来高の推移 (2004年4月1日~2005年3月31日)



## ■ 会社概要 (2005年3月31日現在)

商号	株式会社JALUX(ジャルックス) [英文名 JALUX Inc.]
設立	1962年(昭和37年)3月28日
資本金	25億5,855万円
従業員数	1,590名(連結子会社955名を含む)
国内空港店	千歳、成田、羽田、大阪、福岡など24空港93店舗
国内子会社	(株)JAL-DFS(免税品販売)*1 *2 (株)JALUXエアポート(空港店舗運営業務)*1
海外拠点	JALUX EUROPE Ltd. (ロンドン、ウィーン)*1 JALUX AMERICAS, Inc. (ロサンゼルス)*1 JALUX ASIA Ltd. (バンコク、香港)*1 JALUX HAWAII, Inc. (ホノルル) JALUX Inc. Shanghai Representative Office (上海)

\*1 連結子会社 \*2 2004年7月1日、JAL/DFSデューティフリーショップパズ(株)は(株)JAL-DFSに社名変更いたしました。

## ■ 役員 (2005年6月22日現在)

代表取締役社長	岡崎 俊城
常務取締役	加藤 好和
常務取締役	堤 義幸
常務取締役	青山 和朗
常務取締役	名井 博明
常務取締役	坂本 敏男
常務取締役	塩野谷 住雄
常務取締役	飯島 宏
常務取締役	塚原 雄二
取締役	吉田 亮二
取締役	市川 健二
取締役(非常勤)	広池 君夫
取締役(非常勤)	石井 利宏
取締役(非常勤)	加藤 博之
監査役	中野 恒彦
監査役(非常勤)	古川 康中
監査役(非常勤)	西松 遙

## JALUXグループの社会貢献について

JALUXグループは『幸せづくりのパートナー』の企業理念に基づき、良き企業市民として、その社会的責任を認識し、高い倫理観をもって、常にお客様にご満足いただける商品・サービスを提供し、広く社会に貢献し得る企業グループを目指します。

## 災害復興支援



## ■ 新潟中越地震に救援物資

2004年10月、地震発生を受け、被災地の皆様への初期救援物資として、飲料、カップ麺、レトルト食品など約8,300食を、JAL臨時便にて空輸いたしました。

## ■ スマトラ沖地震・津波の募金活動

2004年12月の災害に際し、全国の『BLUE SKY』において緊急募金活動を行い、お客様から寄せられた募金と、社員および会社からの拠出金を、被災地の子供たちへ向けての支援として(財)日本ユニセフ協会に寄贈いたしました。

災害復興支援活動については、臨時便の運航、物資輸送支援、支援者輸送支援、ボランティア活動への参加など、JALグループ全体としても事業の特性を活かした取り組みを行いました。

## 継続的社会支援

- 世界の子供たちへの支援金として、会社より(財)日本ユニセフ協会に継続的な寄付を行っています。
- 毎年12月に『チャリティ・セール』を開催し、売上金の一部を、JALグループのボランティア活動資金「ボランティアJ募金」に寄贈しています。
- 就学率の低いラオスの子供たちの小学校就学支援として、社員の協力により、日本民際交流センター「ダルニー奨学金」への寄付を行っています。

あらためて、被災地の皆様にお見舞い申し上げるとともに、募金活動へのお客様の温かいご協力を御礼申し上げます。